

2015. 7. 31

23WSJ、食材提供など企業が支援

～地元産米、防災ビスケット、ヤシノミ洗剤、消毒液～

山口県のきらら浜（山口県山口市阿知須）で開催中の第23回世界スカウトジャンボリー（23WSJ）では、多くの日本企業の支援が、参加者約3万4000人の日々のキャンプ生活を支える大きな助けになっている。

JA全農からは、開催地である山口県産のヒノヒカリ7トンの提供を受けた。「将来を担う国際性豊かな青少年に日本のお米のファンになってもらいたい」というJA全農のご厚意。指導者用食堂の夕食ではパンかパスタ、ご飯が選択できるが、外国人参加者には圧倒的にご飯の人気が高い。7月31日13時30分から、大会会場内にある大会本部会議で贈呈式が行われた。

また、31日の夕食時には、山口県産の食材を使った「お弁当」6500食の提供を、山口県から受ける。会場入り口近くにある指導者用の大食堂テント前の広場で18時より贈呈式が行われる。お弁当は世界各国から参加している大学生年代以上の指導者に先着順で夕食として配布される。

大会では、非常食として防災備蓄用「ビスコ」3万3000食を用意しているが、このうち2万2000食分は、江崎グリコから提供を受けた。各サブキャンプに配布されている。英語とフランス語の成分表を添付するなど大会向けに特別対応を受けた。

さらに、東京サラヤからは、環境にやさしい「ヤシノミ洗剤」など、300ml、2650本の提供を受けた。キャンプサイトでの食器洗浄などに使われる。また、ニイタカからも業務用消毒アルコールの提供を受けた。このほか、多くの企業の支援を受けている。

本大会マーケット・アンド・コミュニケーション部長の松平頼昌は「世界から集まった代表スカウトたちに食材などを提供いただき、心より感謝申し上げます。日本の良いモノを世界に知ってもらおう一助にもなると思います」とコメントしている。

大会の詳細はHPへ→ 23WSJ http://www.23wsj.jp/index_j.html

問い合わせ：23WS MC部 報道担当（日本メディア）

080-3413-7811（報道専用） 担当 武末（たけすえ）、山崎